

## 令和2年度第2回山梨県富士山科学研究所課題評価の結果について

山梨県富士山科学研究所では、令和2年12月9日(水)に、当研究所において令和2年度第2回目の課題評価委員会を開催しました。

今回、評価対象になった研究課題は事後評価2件で、評価結果は、次のとおりです。

### 1 課題評価委員(別紙1) 委員長 平田 徹

### 2 評価対象研究課題

令和元年度に終了した研究課題2件に係る事後評価を行いました。

#### 【事後評価 2件】

##### [基盤研究]

- ① 災害避難時のエコミークラス症候群を減らすための研究  
～静脈血栓症に影響を及ぼしている要因の検討と効果的な予防～ (H29～R1)
- ② 地域住民による草地維持管理の意識の解明  
～富士北麓の管理草地と放棄草地の比較～ (H29～R1)

### 3 研究課題に対する評価結果

終了課題2課題に対する総合評価点(5段階評価)は、3.8～4.1(平均 3.95)で、全ての研究課題について、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。

#### 〈 5段階評価 〉

- 5:非常に優れている。
- 4:優れている。
- 3:良好・適切である。
- 2:やや劣っている。
- 1:劣っている。

(別紙1)

## 山梨県富士山科学研究所課題評価委員会委員名簿

(任期:令和2年8月1日～令和4年7月31日)

職	氏名	所属・役職	専攻分野
委員長	平田 徹	山梨大学 名誉教授	生態学 環境学
副委員長	石原 和弘	京都大学 名誉教授	火山物理学
委員	大山 勲	山梨大学大学院教授・地域未来 創造センター副センター長	地域・都市計画学
委員	松本 英昭	環境省自然環境局 生物多様性センター センター長	環境行政 植物生態学
委員	田中 将志	健康科学大学 理学療法学科 准教授	代謝免疫学 生理学 分子遺伝学
委員	森口 祐一	国立研究開発法人 国立環境研究所 理事	環境システム学 都市環境工学

(別紙2)

## 令和2年度 第2回 富士山科学研究所課題評価委員会 評価対象研究課題

日時: 令和2年12月9日(水)  
午後1時 ~

場所: 富士山科学研究所  
1階 ホール

評価区分	研究種目	課題名	期間	評価点
事後評価	基盤	1 災害避難時のエコノミークラス症候群を減らすための研究 ～静脈血栓症に影響を及ぼしている要因の検討と効果的な予防～	H29 ～ R1	4.1
	研究	2 地域住民による草地維持管理の意識の解明 ～富士北麓の管理草地と放棄草地の比較～	H29 ～ R1	3.8